



ご挨拶

—認定更新について—

理事長 藤井 典夫

RASAを支えて戴いております会員・賛助会員の皆様、そしてご寄付でご支援いただいております寄付者の皆様方に、日頃のご支援に心から感謝申し上げます。

また、フィリピンの栄養失調児の救済事業費用の大半をご支援いただいております「手を貸す運動Ⅱ」の代表佐藤様を始め、サーボランの皆様方に改めまして厚くお礼申し上げます。

短期間の梅雨とその後の度を越した暑い日々が続いていますが、体調にはくれぐれもお気を付けていただきたいと思います。

さて、ご寄付をされる方が税制優遇の恩恵が受けら

れる「認定NPO」の有効期間5年が2月16日で終了し、次の5年間の延長申請をしなければなりません。コロナの関係から書類提出が変更され、6月7日に期間延長申請書を沢山の資料を整えて提出いたしました。

一方では、当団体の3月末決算に伴う年度の「社員総会」を決算終了後3ヶ月以内に開催しなければなりません。開催日を6月4日と理事会の決議がなされましたので、社員総会資料作りと開催準備、「認定NPO」書類作成の時期が重なり、密度の濃い資料作成に追われておりました。

この間には、名古屋市当局の係長さん以下3名の方が「認定NPO」関係で書類審査だけではなく事実確認のため、提出した5年分の書類の裏付け確認に直接事務所へ来られました。国税庁に代わっての監査でした。細部にわたったヒアリング、資料の徹底した点検、提出した書類の裏付けの調査を受けました。

結果は、いくつかのご指摘はあったものの、無事に延長が認められました。

貴重な優遇税制を活用して、ご支援者皆様のために全力を尽くす所存でございます。

RASA-Japanは寄付金控除が受けられる「認定NPO法人」です！

国が社会貢献事業を拡大支援する方針で、認可民間法人が行うその事業への寄付者の寄付金に対し、減税で優遇する趣旨のものです。

個人及び法人が認定NPO法人に寄付した場合、以下のような税制上の優遇措置が適用されます。

- ①個人が寄付した場合—所得控除または税額控除
- ②法人が寄付した場合

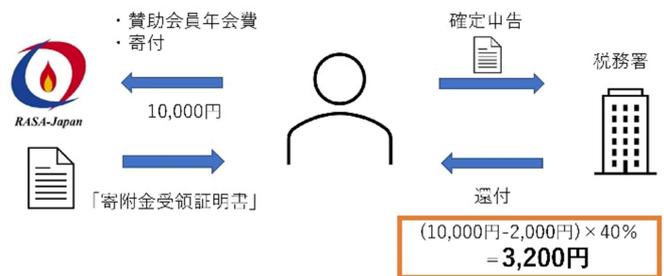
—一般の損金算入限度額と合わせて、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます

- ③個人が相続又は遺贈により取得した財産を寄付した場合

—寄付した財産の価格は相続税の課税対象から除かれます

詳しくはお住まいの地域の税務署にてご確認ください。今後ともご支援を何卒よろしくお願いいたします。

例) 年間10,000円の寄付をした場合



例) 法人が認定NPO法人に寄付した場合



【クラウドファンディング支援】

新校舎が完成しました！詳しくは4・5頁に掲載しております ⇒

私がRASAとかかわりを持ったのは、2003年の学校建設ボランティア活動に参加したことが始まりでした。

その年はマニラがあるルソン島の南の島、ミンドロ島のカラパンという貧しい田舎でした。引率者は、南山大学で教鞭をとられていたシーランド神父と学生課長の吉崎さんでした。RASAのボランティアの行程表は旅行社のツアー並みとは言いませんが、あまりにも杜撰なものでした。「こりゃーいかん」と思いました。親御さんからしてみたら、大切この上ない子弟なのです。事務的なことに対して、シーランド神父は全くダメでしたので、それを補うためにログスセンターに事務の手伝いを頼んでいたようです。

ところが2004年だったと思います、ログスセンター長が交代しました。ログスセンター以外の仕事を事務所の人に禁止したために、RASAの仕事が宙に浮いたのです。

当時のRASAの職務の大半は、シーランド神父がフィリピンに事務所を構え、現地の事務員を2~3人雇い、奨学金支給や学校建設場所のリサーチをしていました。そのため、彼らの給料や事務所費、経費を送金することが必要だったのです。

日本サイドの仕事は、もっぱらフィリピンに送金する寄付金集めでした。ログスセンターを追われたRASAの仕事は、神言会事務所で多忙を極めておられる鎌田さんへと移り、その後見かねて我が家に引き取りました。

・・・この話はRASA発足当時の思い出です。当時から今日まで約20年が経過しました。

2005年頃のことでした。シーランド神父の南山大学での所属が名古屋キャンパスの英米学科から瀬戸キャンパスの総合政策学部になり、お住まいも瀬戸市のドミニコ修道会になったと記憶しています。シーランド神父を積極的に支援する人もなく、まさに孤軍奮闘のありさまでした。

折角築かれたへき地の学校建設活動、そこに学生ボランティアを派遣し異文化を学ばせる活動の火は、消してはならないと思いました。

残念ながら、資金がありません。如何にして資金を集めるかが私に課せられた課題でした。

NPO法人にすれば世間の見る目も違ふだろうと思いい、ウィル愛知にあった愛知県の担当を訪ね、暑い

8月にNPO設立準備のためにしげしげと通いました。やっとの思いで設立が出来たその時は、頂上にたどり着いた登山家の心境でした。

しかし、寄付金は思ったようには集まりませんでした。その間にNPOを語る不正な団体も出て、ショックを受けました。

その後、RASAの行政窓口が県から名古屋市に変更され、名古屋市市民活動推進センターとなりました。セミナーの帰りに窓口を尋ね、そこで「認定NPO」というライセンスを紹介いただきました。RASAはすべての面で資格取得ができることや寄付金に対して税法上の特典が与えられ、寄付しやすい制度であることが分かりました。

全国のNPO法人数は、5月末現在で50,711。しかしながら、このライセンスを取得している認定NPO法人は、僅か1,246(2.45%)しかありません。その中で、2027年までの5年間の資格延長も認められたばかりです。

さて、今年3月期の決算では、次頁でご報告の通りコロナの影響をまともに受けまして、大変厳しい状況でした。若者の海外体験の場としてボランティア活動は、大学や学生たちに人気が出ているところでした。学校建設、給食活動の現場に一日も早く連れていきたいと思っています。現在、理事会では認定NPO法人の強みを生かした寄付集めの活動に着手いたしました。

ご協力、ご支援いただきたいと思います。また、情報もお寄せいただければと思います。



第13回定時総会の様子

令和三年度「特定非営利活動に係る」活動計算書
令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

単位:円

科目	前期決算	当期決算	備考
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入	490,000	185,000	
1) 受取正会員会費	105,000	115,000	会員年会費
2) 受取賛助会員会費	85,000	70,000	
3) 受取団体会員会費	300,000	0	団体会員年会費
2 事業収入	0	0	
1) ボランティア参加費	0	0	ボランティア参加費
3 補助金等収入	2,000,000	100,000	
1) 受取助成金	2,000,000	100,000	東海地域NGO活動助成金
2) 受取補助金	0	0	
4 寄付金収入	5,599,015	7,939,698	
1) 受取寄付金	5,599,015	7,939,698	クラウドファンディング他寄付金
5 雑収入	21,586	3,653	
1) 受取利息	20	16	銀行利息
2) 雑収入	21,566	3,637	
経常収入合計	8,110,601	8,228,351	
II 経常支出の部			
1 事業費	694,707	10,101,192	
1) 学校建設事業	694,707	6,927,354	
2) 栄養障害児救済事業	0	3,173,838	
2 管理費	2,285,047	2,726,865	
1) 人件費	811,775	503,025	
給与 手当	811,775	503,025	パート勤務スタッフ1名雇用
2) その他経費	1,473,272	2,223,840	
会議費	56,452	66,418	会議関連費用
旅費交通費	77,630	8,460	運賃等
賄費	123,240	69,613	
通信運搬費	294,832	199,735	郵送料等
事務用品費	132,867	186,199	
修繕費	73,700	92,530	
消耗什器備品費	96,831	111,140	
水道光熱費	4,860	23,850	灯油
賃借料	472,000	409,000	駐車料他
印刷製本費	42,045	27,090	
諸会費	10,000	14,400	
租税公課	55,847	21,912	収入印紙等
支払手数料	0	965,855	クラウドファンディング
雑費	32,968	27,638	振込手数料等
経常支出合計	2,979,754	12,828,057	
経常収支差額	5,130,847	△4,599,706	
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
IV 経常外費用			
1) 過年度損益修正損	0	0	
経常外費用計	0	0	
当期収支差額	5,130,847	△4,599,706	
前期繰越額	6,073,453	11,204,300	
次期繰越収支差額	11,204,300	6,604,594	

※年次会計報告は、ホームページにて公開しております。



新校舎が竣工しました

フィリピンの教育省レネ長官のお招きがあり、7月15日に執り行われたバラグタス・セントラル・スクールの竣工式に出席いたしました。とてもきれいな校舎に仕上がっていました。

学校敷地全体が湿地帯の場所であるため、当初計画していた場所から教育省のアドバイスで建設場所の変更を行い、さらに校舎の床面全体を1.4メートル高く嵩上げて、浸水対策が取られています。



完成を喜ぶ先生方



障害者用教室にも使えるようスロープを設置

そのため、校舎に向かって左半分には7段の横長い階段が設けられ、残り半分には体が不自由な子供たちを想定して手すりのついたスロープが作られました。



銘板の除幕式



テープカット

クラウドファンディングでご寄付をいただいた方々の銘板除幕式後、カトリックのしきたりに則り、神父さんの司式によって聖水による祝別が新しい教室や階段、スロープすべてを回り行われました。



完成教室の祝別



理事長のあいさつ



完成教室



完成した教室を視察



歓迎歌を唄う全盲児童

式典はフィリピン国歌で始まり、各界の関係者や地元の方、先生方など多くの方々の参加がありました。特に印象に残ったのが、先生方の嬉しさがあふれた楽しそうな笑顔でした。



常に水に悩まされる学校



感謝状を授与されました

RASAは1999年からフィリピン国で貧困の撲滅、飢餓対策、質のいい教育を目指し支援を継続、国連の掲げるSDGs解決策17項目の3項目を目指し、活動してまいりました。この度、この新校舎が障害者のために役立てられることを心から嬉しく思い、さらに当校の児童の幸せと発展を心から願っております。



藤井理事のあいさつ



教育省長官・学校長等関係者の皆様

食品配付支援

支援対象児童140名に一覧表にありますように、大きな支援ができました。皆様に深く感謝申し上げます。学校訪問時に校長から、コロナ禍の今、食品配付が支援対象児童だけでなく、貧しい家族や周囲の隣人家族にも幅広く支援していたと感謝のお言葉をいただきました。

配付食品一覧表 2021年9月～2022年6月

1フィリピンペソ≒2.4円

食 品	総 数	購入金額	1人当たり		単価
缶 詰	12,320 缶	64万円	88 缶	4,571 円	52円/缶
粉ミルク(33g/袋)	17,780 袋	38万円	127 袋	2,714 円	21円/袋
卵	23,800 個	30万円	170 個	2,141 円	13円/個
米	12,460 kg	138万円	89 kg	9,857 円	111円/kg
インスタントラーメン	2,520 袋	5万円	18 袋	357 円	20円/袋
MILK(48g/袋)	1,120 袋	1.6万円	8 袋	114 円	14円/袋
パスタセット(1.7kg)	140 セット	3.4万円	1 セット	243円	243円/セット
合 計		約 280万円	約 20,000 円		

学校制度の変更と次年度契約について

2020年3月半ば学校閉鎖となり、教育省の方針で学校年度(6月～翌年3月)を大幅に変更しました。新制度では9月～翌年6月に変更し、7～8月下旬迄休校となります。

この2年間コロナ禍で登校不可の時は、授業は私有のタブレット端末を持つ児童は通信によって先生から直接指導を受けられ、持たない児童は学校が配布したプリントの学習内容を親が教えていました。

ようやく2022年感染が激減し、ワクチン接種済児童のみ通学可能となりましたが、接種済は全校5600人在籍で、たった370人余り(約7%)と接種が進んでいません。

教育省は休校中に一層進んだ教育格差を懸念してか、改善方向に舵を切り、教育方法を大幅に変更改

革実施。学校がタブレット端末を生徒全員に貸与して、全員が使用できるよう変更しました。2022年度から各クラスで、モジュール授業と対面face to face を半数ずつ、1日交代で実施と決定。自宅への持ち帰りを翌朝学校に返却することを条件に可能となりましたが、ネット環境がない家では無理です。

児童のワクチン接種増を図るため、学校で接種を行い、新年度からは全員登校です。2年近い教育の混乱が解決に向かいます。

校長は保健衛生上の観点から、ワクチン接種がなかなか進まない現状では給食再開は不可と決定しました。先生方も新教育方針に沿った授業方法の研修を重ね、また自宅で具体的な実施への準備など努力されています。

今回の訪問で痛感したこと

フィリピンの人には、自分で生きていかねばという「人間力」がある！また、社会は我が子も他人の子も区別せず関心を持ち、時には手を差し伸べている。2年半ぶりの現地訪問でしたが、学校関係や地域の人々との再会、RASAの支所デニスさん宅で宿泊し、家族との国を超えた交わり、信頼が堅固になって、ありがたく嬉しかったです。

首都圏を除き、田舎ではコロナ禍の経済悪化が支援先の特に最貧の人たちへの影響は、想像以上でした。親は仕事を求め働きに、働けない人が家で待つパターン。この地域に何とか日銭稼ぎができる家内工業的な仕事が生み出せないものかと、頭を悩まし帰国しました。

今回ブラカン州に建設した小学校(在校生1,370人)では、3教室共障害を持つ児童の教室になるそうで、

またサウスビル I 小学校でも、給食支援の部屋が新たに障害児教室に充当されていると知りました。

フィリピンには、いかに障害児が多いかということが分かります。その原因は、食育がほとんどなされていないと体格を見て分かります。

貧困地域では普段から満腹になる糖質や砂糖、油など手軽な食品でとり、蛋白質やカルシウム、ビタミンの栄養が取れません。

特に大事な母体の栄養不足だと新生児の脳に障害が出やすく、障害を持つ子が生まれるケースが多いというデータがありますが、栄養不足は子供の成長には勿論、母体と出生児の両生命に甚大な影響を及ぼしています。栄養指導を何とか今後進めていきたいです。学生ボランティア活動に、食育や彼らが関心の多い日本語授業を準備して加えることを考えています。

食品受給者宅の視察

1) 2～18歳の子供だけ9人がいた。父親はなく、遠くへ出稼ぎの何時帰宅するかわからない母親を待つ。狭く暗い、床は土の家に肩寄せ合って暮らしている。身体は小さく細いが、彼らの単純で純粋な笑顔に胸が打たれた。



2) 第1子が重度障害児で、その世話にかかりきりの母と他子供5人と祖母の家族。第2子で6年生になる男子は、学校で成績優秀を受賞。勉学好きで、将来家族を養いたいという。



3) 給食準備と食品配付のパートの仕事をしているヘルパー宅。4人の女の子、どの子もピュアな笑顔が素晴らしい。



4) 以前手紙をくれた児童(vol. 38で写真紹介)で、訪問して歩行困難の障害者と知る。祖母がミニ雑貨店を営みながら、彼といつも一緒に過ごし、彼の表情は明るい。



5) 動けない祖父と孫たちが留守番、上の子が下の弟妹の面倒を見る。動物小屋のようで清潔感が全くなく、裸足の生活。



6) 妊婦の母親と6人の子供たち。上の子は下の弟妹の世話して、物がなくてもなんと幸せそうな様子が印象に残る。



7) 近所で1つポンプを囲んで、一緒に洗濯したり、水浴び、簡易バケツのプールへの水運び等子供が協力して自力で育っている。



食品配付支援 継続

7月20日 サウスビル I 小学校にて、校長、コーディネーター、RASA2名で「食品配付継続」の確認を行いました。給食実施再開の是非を相談しましたが、校長の特に食品配付実績がもたらした幅広い効果-学童1人だけでなく、貧しい家族全体が食べ物を分かち合い、時には周囲の隣人家族にも分け合っていることを大きく評価されました。RASAは給食でなく、現況で最適な食品配付支援の継続を約束しました。

昨年同様の契約で、学校が各学年20人合計140名選定、支援については、日数は年間203日授業日分、1日1人100ペソ(約240円)の食品費、人件費等予算を準備します。

◆問題点

ロシア侵攻による世界的な食品価格の高騰が止まらない中で、1人当たり同予算額では配付食品が減る可能性が予測されます。更に、昨年度半ばから円安が

急伸し、円はペソに対して12~15%増の影響を受け何とか契約通りの送金ができるように、更に寄付を募る必要があります。

先生は体位改善や家庭収入に改善が見られたら、更に必要性の高い児童と入替の方針で、全校の7割が貧しい家庭の故、選定に際して胸が痛むそうです。



左から サウスビル I 小学校長、藤井理事長、藤井忠子理事、コーディネーター ジョイス、現地スタッフ デニス

「事業復活支援金」給付を受けました

5月に中小法人も対象となっている、コロナの影響を受けた事業の継続・回復を支援する「事業復活支援金」(経済産業省)の申請を行い、6月7日に100万円の支援金給付を受けることができました。学校建設をはじめボランティア派遣、給食支援とコロナ禍の大きな影響を受けていましたので、活動を継続していくためにも本当に大きな支援となりました。

今後の活動予定

フィリピンの現状に対応しながら、学校建設と給食支援(食品配付支援)活動を進めてまいります。

8月 食品配付支援 サウスビル I 小学校と契約

8月下旬 食品配付支援 開始予定

会員が減少傾向です！活動を支援いただける方を募集しています！

資料をお送りいたしますので、RASA-Japan事務局までご連絡ください。

※「遺贈によるご寄付」、「相続財産のご寄付」は、相続税が免除されます。お志のある方はご連絡ください。

RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています



認定 特定非営利活動法人

RASA-Japan

理事長 藤井 典夫

〒468-0014 愛知県名古屋市天白区中平2-2627

TEL/FAX 052-803-1649

E-mail info@rasa-japan.com

郵便振替：口座番号 00890-4-31185

受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan

三菱UFJ銀行：平針支店 普通 0037025

トクテイヒエイリカツドウホウジンラサジャパン

ホームページ

<http://rasa-japan.com>



@rasa_japan



@rasa.japan



@rasa_japan

